



子が創建したものを奈良時代の前期に当麻氏の氏寺として、現在の地に

近鉄当麻寺駅から歩くこと約二十分、普段は静かな当麻寺の境内は、四月から五月にかけて多くの参拝者で賑わいます。広い敷地内には、中之坊・西南院・奥院・護念院の一つ一つにボタン園があり、各園それぞれ趣向をこらし、色鮮やかなボタンが一斉に咲き競います。寺伝によると、当麻寺は聖徳太子の弟の麻呂

移築したと伝えられています。金堂には国宝の弥勒菩薩像(白鳳時代)をはじめ四天王(重文)、不動明王などが安置され、白鳳時代のすばらしい仏像と出会うことができます。また、この寺をなにより有名にしたものに「中将姫伝説」があります。藤原鎌足の曾孫である藤原豊成の娘であった中将姫は、世を憂い当麻寺に身をよせ、中将法如として仏門に入りました。三十七日間の念仏をとなえた最後の夜、「茎を集めその蓮茎の糸から曼荼羅を織りなさい。」という仏の声を聞いた中将姫は、一夜にして、一丈五尺四・五メートルの曼荼羅を織り上げました。

このドラマチックな伝説をもつ「当麻曼荼羅」は、平安時代の浄土信仰に大きな影響力を与え、元来は真言宗のお寺でしたが、のちには浄土宗も奉じる「二宗兼宗」の寺となりました。現在では、大和路屈指の「ボタン寺」として人気のある当麻寺ですが、ちょうどボタンが満開を迎える五月には、中将姫が菩薩に導かれて極楽に旅立つさまを再現した、「お練供養」の行事も催されます。



見ごろ 四月下旬～五月上旬
交通 近鉄南大阪線当麻寺駅下車西へ約二十分
問合せ 葛城市観光協会 0745(48)2811(代)

四季彩々

「上山の麓に建つ当麻寺」

広い境内はボタンの花で彩られます。



新年あけましておめでとうございます。

温故知新の気持ち大切に、新しい一歩を踏み出せる年にできればと思います。本年もよろしく、お願いいたします。

梅栄堂社長 中田 信浩

旧年中はいつもながらたいへんお世話になり、ありがとうございます。本年度は、梅栄堂が明暦三年に創業させていただいて以来、三百五十年目を迎えさせていただく節目の年となりました。三百五十年に当たり、記念の商品として「三百五十箱限定の高級お線香」の販売等も企画しております。初心を忘れないよう、いいお線香づくりのため、よりいっそうの努力を重ねてまいりますので、今後ともどうぞよろしく願いたします。さて、昨年驚きましたお話をひとつ。

確かお盆の頃だったと思いますが、ある時からコーヒーマシンの香りのお線香「残香飛」の注文が急に増えました。どこからも注文殺到で、お店の品切れだけでなく、我が社の在庫も一時期、底を突いてしまうほどの急激な売れ行きになってしまいうりさまで。最初は理由がわからなかったのですが実はこれにはワケがあったのです。最近たいへんな人気を呼んでいるお昼の番組、みのもんたの「おもしろさきりテレビ」をご存知かと思いますが、ひよんなことから、番組中に浅草のお仏壇屋さんにカメラが入り、

その中で、今売れている商品として「残香飛」が紹介されていたらしいのです。その直後から注文が殺到していたわけで、改めてマスコミの力の妻さを実感いたしました。それにつけても、我が社がここまでやってこれましたのは、皆様のご愛顧のおかげと本当に感謝しております。ささやかではございますが、消費者向けのプレゼントキャンペーン等も考えておりますので、本年もどうぞよろしく願いたします。

